

平成29年度 学校評価書

平成30年3月31日

学校法人長嶋学園

城南静岡高等学校・中学校

校長 廣瀬 尚史

教育目標

- ・まず健康と明るい心
- ・道に従い優しく強く
- ・仕事は忠実、務は責任
- ・報恩奉仕の毎日へ

(達成度70%・A 達成度70%～40%・B 達成度40%・C)

I. 経営の重点に関すること

	目 標	具体的取り組み	最終評価(A～C)
重点目標 (産業人としての知識・技能修得、豊かな人生観を熟慮させる)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT科高校1年生全員にパソコンを所持させ効果的学習を研究 ○定員数を満たすための内容充実努める ○中学部では英・国・数の学力向上 ○部活動の充実を図り、多様性の生活習慣を会得 	<p>高校1年生のパソコン貸与については1学期中に行う。貸出使用規定についてしっかり生徒の指導する必要がある。ICT活性委員会を通し、各授業で今まで以上の活用を期待する。募集に関しては、小・中学校へのアピールすると同時に、在校生に対して満足度を高めることにより、評判を高める努力が必要である。</p> <p>部活動に関しては指導者への指導が必要である。生徒への接し方や労働時間の問題についても。</p>	<p>B</p> <p>パソコン貸与については全員の手元に渡り、生徒の学習意欲の向上につながった。ただ、各種検定の取得状況については例年の結果は出なかった。募集に関しては、中学3年生の人口減少により、昨年のように定員をオーバーするほどではないにしろ、他校と比較しまずまずであった。今後は更に厳しくなるであろう。中学生については、特に英語の学力向上が検定試験の結果に表れた。一部の部活動については、残念ながら教師に対する生徒・保護者の信頼が薄れている。そのため結果も良くない。</p>

学校関係者評価委員から	
B	<p>パソコンが貸与となったことにより、保護者の負担が減ったことは、保護者にとって大きなことだと思います。子供達にとっても、今後の学力意欲の向上が見込まれます。また、他校にない授業内容、取り組みを継続的に行っていることは、高い評価ができます。一方、一部部活動での教員の質の低下があり、保護者や他校の教員からの評価があまり芳しくないのは残念なことです。学校の今後の指導を期待いたします。</p>

II. 各部・領域等に関すること

	目 標	具体的取り組み	最終評価(A～C)
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ○資格取得・検定勉強対策 ○基礎学力の向上 ○道德教育の充実 ○地域貢献教育への取組 	<p>商業科目に対して特別講習と強化週間を年間2回ずつ設け、取得率の向上に取り組んだ。また、大学進学に求められる英語の資格取得対策として、本年度はじめての英語検定強化週間を実施した。また、地域貢献教育の一環として「城南マルシェ」を7月に開催し、10月には「しんきんフェア2017」に高校3年生が全員参加し、地域企業のサポートをさせていただいた。</p>	<p>B</p> <p>ICT科は日商簿記1級合格者2名、全商全種目(9種目)1級合格1名をはじめ、全商3種目以上合格24名を輩出し、今年度も数多くの資格を取得させることができた。ICT設備を活用した基礎学力の定着を目指したが、顕著な成果は得られなかった。2年目の「城南マルシェ」は規模を拡大して実施し、好評を得た。「しんきんフェア」では、受付をはじめ物販のサポートや会場周辺の警備など様々な仕事を体験することができ、地元企業とのつながりを深めることができた。</p>
	○基本的生活習慣を身につ	定期的に頭髪検査を実施。登下校時	B

学校関係者評価委員から	
A	<p>ICT科の資格取得は県内でもトップクラスであり評価は高いと思います。また、このような結果を残すことで一人一人の自信にもつながり、さらに成果を増やすことが期待できます。城南マルシェは地域との交流に貢献できていると思います。</p>
	子どものみならず、保護者にも問題があ

平成29年度 学校評価書

生徒指導部	ける ○城南静岡を好かれる学校にする	に交通指導を兼ねて挨拶運動、マナー指導の実施。テスト期間や行事における学年による郊外巡視の実施。授業やSHRにおける生活指導。	今年度は過去に例を見ない事例があったが、校長・教頭・学年と連携して対処した。日常においても、学年・クラスにおける粘り強い指導が実施されている。その場で生徒に声かけできる教員と、できない教員との温度差が感じられる。	B	り、指導の難しさが表面化しています。大きな問題については評価者やPTA役員への報告を密にしたいと思います。
進路指導部	○進路100%決定 ○新たな進路の開拓	できる限り情報を共有し、生徒や職員の進路意識向上を図る。普通科の進路についての確立とともに全員の進路が決定できるように努める。	B 例年通り満足できる結果を残すことができた。普通科への進路についてももう少し研究すべき点がある。家庭事情による生徒以外は全員進路を決定することができた。	A	先生と生徒の進路に対する意識を高めていくことが、良い結果につながっております。ただし、企業や学校と生徒、担任、進路指導担当者の意思疎通がおろそかになってしまった点が残念だったことと思います。
保健部	○心身の健康の保持増進	薬学講座を開催し、薬物が心身に与える影響についての理解を深めさせる。	B 薬害講座を実施し、薬物が身体に与える影響について広く生徒に周知した。今年度もPTAよりキエルキンを各教室へ配布することができた。インフルエンザ大流行のため高校1年生で4クラス学級閉鎖、中学1年生学年閉鎖となったが、学校全体への広がりはないと抑えることができた。早期に予防接種を受けるよう勧めていきたい。トイレ、水道等は見回りを行い、清掃が行き届かない所は声かけを行った。	A	キエルキンを各教室に設置するなど、他校に先んじて対策を講じる学校姿勢は素晴らしいことだと思います。
部活動	○生徒の興味・関心を援助し、社会性・創造性を育てる ○より高いレベルの大会等で結果を残す	基本的な生活習慣の育成を柱とし、厳しさの中にも慈愛に満ちた指導を心掛ける。運動部においてはスポーツをする楽しさや喜びを忘れず指導にあたる。文化部においては芸術系や学問系の技術向上を自発的・自主的に活動できるような指導にあたる。	A 本年度も全国大会に出場した部活動があり(水泳・体操・書道)、活発な活動を行うことができた。柔道部は新校舎完成に伴い柔道場が新設され、日々練習に励んでおり、今年度初めて男女とも静岡県大会ベスト8進出を果たした。簿記部は静岡県新人戦において、創部以来初めての優勝を行うことができた。	A	素晴らしい結果の1年だったと思います。マスコミを通じて部活動の成果を上手にアピールすると良いと思います。ある公立高校では週1回部活動休みの学校があります。先生、生徒のためにもこのような日を検討してみたいか？
教職員の資質向上	○ICT活用の研究 ○新カリキュラム研修 ICT科・普通科の新しいカリキュラムの徹底研究 ○地域の人々との交流指導	ICT授業「すらら」「スタディサプリ」の導入、ICT活性委員会による研究発表。 新カリキュラムの学習計画作成。 城南マルシェ開催準備及びしんきんフェア静岡参加への事前研究。	B ICT活用の研究に対しては更なる努力が必要。新カリキュラム研修においては、学習計画の作成のみで研究には届いていない。地域の人々との交流指導は目標に届いているが更に研究を要する。	B	先生方が一生懸命取り組んでいると思います。一方で一部の先生自身のモラルの問題も指摘される場面もありますので、教員の教育も今後の課題として取り組んでほしいと思います。
保護者の連携	○学校と保護者双方で生徒を育てるという意識で連絡を密にする	PTA総会・懇親会・地区会・学級懇談会・常議員会の開催にPTA役員と連携して多数の参加を保護者に呼びかけた。また、城南祭・文化祭・体育祭の	A いろいろな場面で保護者の意見を聞くことができたことは良かった。城南祭・文化祭・体育祭の行事にも多くの保護者の参加が	A	地区会、城南祭、文化祭、授業参観、懇談会、PTA総会及び懇親会など保護者との話し合いの機会が多く、学校の様子が分かりとても良いと思います。

